

予算わずか 115 万円の、公園花苗の配布が休止に！

山部ひろし議員の一般質問

市民の切実な願いが、450 億円の再開発のかけで **次々と** 切り捨てに

6月24日、山部ひろし議員が、初めての一般質問を行いました。

質問では、安保法制(戦争法案)への大西市長の認識や、国保料の引き下げ、小中学校普通教室へのエアコン設置、少人数学級、子ども医療費助成拡充、龍田出張所の総合出張所格上げ、市民病院の建て替え凍

結問題、市営住宅の改修、桜町再開発とMICEについて、立野ダムについて、などを取り上げました。

質問、答弁を通して、市民の切実な要求が、総事業費450億円のハコモノ投資の陰で犠牲になっている現実が、浮き彫りになりました。

市民のいこい — 公園の花さえも予算削減

これまで、公園愛護会に配布されていた公園の花苗が今年より休止されます。休止にいたる経過の説明は一切なく、一方的に送られてきた通知には「財政状況が厳しく、やむなく休止に」とあったそうです。

花苗給付に必要な予算は、年間115万円。市民のささやかな憩いをも削減しなければならないほど、財政が厳しいのであれば、450億円の再開発こそ、即刻中止すべきです。

授業中、教室で熱中症発症も — 急がれるエアコン設置

市長公約で任期中に実現させるとした、小中学校全普通教室へのエアコン設置。本年度の予算は中学の設計のみでした。

熊本市が実施した教室室温調査では、調査した全ての日で30℃を超える結果がでました。実際、中学生が授業中、教室で熱中症をおこす事態もおこっています。中学のみならず、小学校への速やかな設置のための予算確保を求めました。

龍田出張所を総合出張所へ — 通いたくても通えない区役所。人口に見合った行政サービスを

これまで繰り返し陳情・請願がなされてきた龍田出張所の格上げ問題。市長公約に「区役所の権限強化、出張所の再編」が明記され、地元では最低限の行政拠点すらなくなるのでは、と心配しています。

山部議員は、区役所偏重ではなく、地域の実情にそくした行政サービス拠点の確保を重ねて求め、担当局長も、出張所再編については、12月をめぐりに具体的な案をしめすと答弁しました。



■質問を傍聴された方の声

「市政の問題がよくわかった」
「堂々とした語り口が、新鮮で好感がもてた」
「質問の内容も豊富で、問題の核心をとらえていたと思う」
「子育て世代の声を届けてくれた」

沢山の傍聴、本当にありがとうございました。当日の質問は、熊本市議会のホームページでもご覧いただけます。

【控室から】

厚生委員会に所属して

上野 みえこ



4年ぶりに厚生委員会に所属しました。医療・福祉、障がい者や子どもの問題など、市民のみならず「一番身近で切実な分野です。今回の委員会には、障がい者や子育て分野から陳情の趣旨説明にいられました。一般質問で取り上げなかった問題を中心に質問しました。福祉タクシーやガソリン券、「重度心身障がい者医療費助成の現物給付の取り組みなど、提出していただいた資料でも、政令市20市と比べても大変遅れた状況がはつきりしています。生活保護制度も相次いで改悪、介護保険でも負担ばかり増え、サービスは大きく削られています。当事者の方々の願いにこたえ、制度の充実改善を図ることが強く求められています。」

国も、社会保障費を徹底削減、一方で消費税増税・庶民負担増の「骨太の方針」「成長戦略」を閣議決定。ますます国民生活犠牲の方向がはつきりしてきました。市民のいのち・くらし第一の市政実現に向け、より一層頑張ります。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか 山部洋史
熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 954

2015年7月5日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.jcp-kumamoto.com/

行政をゆがめる「北口和皇議員の圧力」、きっぱり正すべき！

6月24日開催の議会運営委員会に、「市議会議員のパワーハラスメントについて」の陳情が提出されました

北口和皇議員の暴言によって、食肉業務の契約締結が不成立

3月16日、議会棟特別応接室で行われた食肉業務に関する契約締結の調印式が、参加した北口和皇議員の暴言によって、不成立となりました。

参加者の一人が、市民の付託に応える市議会議員としてあるまじき行為であると、「市議会議員のパワーハラスメントについて」という陳情を市長ならびに市議会議長へ提出されました。提出者による陳情の趣旨説明も行われ、具体的な暴言の内容と、調印が不成立に終わった経過について詳細に述べられました

(陳情の別添資料より)

【北口和皇氏の発言時の概要】

「この席に！さんが来とらん！どぎゃんこつか！これまでの問題解決には！さんが仲介したけんまとまったつだろうが！！さんがおらん調印は認められん！」

「しゃにむり調印ばするなら、私が出て行くけん、わたしがおらんところではなはる。その調印は認めんけん！」

「！さんが腹かいたなら、Nさん、あんたは豚舎での養豚は排水問題でできんごつなるぞ！」……

大声で発言し、机をバンバン叩かれる。

北口議員の求めで開かれた「異例尽くしの調印式」

- 予定のなかった「調印式」が、議員の求めによって開かれました。
- 本来、行政棟で行うべき調印式が「議会棟特別応接室」で開催。
- 普通は参加しない「副市長」まで同席しました。
- 本来議会代表は「議長」や「委員長」が出席すべき市が行う調印式に、特定の議員(北口氏)が参加。

- 20分で終わる予定だった調印式は、長時間にわたる暴言によって不成立という結末になりました。……
- 上野議員は、議会運営委員会で、「市職員ならば、懲戒免職になるような事案。市議会として全容説明を行い、責任を持って対応すること」を求めました。

平成27年3月23日

熊本市長・熊本市議会議長 様

熊本市議会議員によるパワーハラスメントについて

……(前略)……

平成27年3月16日、(月)熊本市役所議会棟3階特別応接室におきまして、熊本市営食肉センターの廃止に伴う、移転先であります畜産流通センター(菊池市七城町)の利活用ができる運びとなりました。調印式には、高田副市長はじめ畜産流通センターの関係者や豚屠畜業者、熊本市農水商工局、経済連の関係者が出席して開催されました。ところが、開式後の冒頭から、立会人である北口和皇市議が長時間にわたり調印式のために準備された資料を机に叩きつけたり、出席者した関係者に向かって、心身に影響を及ぼしかねない恐怖感をいただくような大声で罵声を浴びせられたのです。たしなめられた高田副市長様とは一時口論になったり、農水商工局長や場長の発言は遮り耳を貸そうともされませんでした。

社会益を第1に考え、市民の厳粛な信託に応えるという熊本市議会議員の立場にあられる方ですから、困っている屠畜業者や移転先の確保にご尽力いただいた方々にねぎらいの言葉をかけていただくものと期待してはいたのですが、参加者が立ちすくむような状況でありました。つきましては、市民の代表である立場を鑑みますに、北口和皇氏による傍若無人とも思える言動に関しまして、広く有権者に問題提起をして審らかにする必要があると考えます。そこで、市政運営をされる立場にあられる市長様ならびに市民の幸福や人権を守る機関の責任者であられる市議会議長様のご見解ならびに今後の対応等につきまして、報道機関立会いの下、お聴かせくださいますようお願いいたします。あわせて、調印式が不成立に終わったことへの対応につきましても、よろしくお取り計らいくださいますよう重ねてお願い致します。

議会運営委員会としては、政治倫理条例の改正と、市の「不当要求行為等防止対策会議」の開催を市長に要請することを取りまとめました。